



肥塚 康子 議員

YASUKO KOEZUKA



新型コロナウイルスの影響で多くの事業者が打撃を受けている中、市民もオールたつので経済の活性化に取り組み必要性を感じる。終息後の展望も含めて以下について伺う。

**問** プレミアム付グルメ券の他に、経済・観光の復興支援策の一つとして市民が市内の宿泊施設を利用した場合の宿泊費の補助は考えられないか。また、地元の魅力を市民に再発見してもらう取り組みはできないか。(マイクツーリズムの活用)

**答** 国や県の施策に協調し、相乗効果を得るべく、新たな総合的観光施策を策定したいと考えている。マイクツーリズムに関しては地域の特性を発見し、故郷への愛着を喚起する素晴らしいものと考えているが、行政主導ではなく、関係事業者の考えのもとに進めていくべきと考える。

**問** 「碧川かたを朝ドラの主人公にする会」の活動が新聞に大きく取り上げられ、露風と実母かたの知名度が上がっている。このチャンスを活かし観光復興・振興に繋げられないか。

**答** 「龍野の歴史と文化を活かしたまちづくり推進事業」において、現在そのビジョンを策定中である。観光コースの見直しなど総合的な観光振興策を検討していく。



女性が活躍できる社会の基礎を築いた、三木露風の実母「碧川かた」



※マイクツーリズムとは、地元で安心・安全な旅をすること。

関連するその他の質問

- SNSを活用した市全域の観光ガイドブックの作成について
- 三木露風やかたについての教職員等の意識について



楠 明廣 議員

AKIHIRO KUSUNOKI



Q & A 県立はりま姫路総合医療センター(仮称)開院に伴う姫路バイパス及び竜野太子バイパスの渋滞解消対策について

**問** 県立はりま姫路総合医療センター(仮称)が開院すると、これまで以上に姫路バイパスが渋滞し、太子竜野バイパスまで影響が及ぶと懸念される。国道2号バイパス等の改良工事が必要と考えるが、西播磨管内で開催される会議等で市からも積極的に発信をしていたらきたい。

**答** 当該道路については、西播磨地域の発展には欠かすことのできない重要な道路である。機会を捉え、渋滞対策について発言していく。

**問** 近年、核家族化や少子高齢化を背景に、墓じまいをされる方が増えているが、墓じまいと文化と伝統の因果関係をどう考えるか。

**答** ご先祖を敬つお墓文化は、継承することが望ましい文化である。個々の実情に合わせ、

手続等の利便性を高め、満足できる供養が行えるよう側面的な支援を行っていく。

**問** 市営住宅の空き部屋に高齢者などが利用できるような店舗等を入れ、地域のコミュニティの核となるようできないか。

**答** 地域の実情や住民のニーズを把握しながら、有効な活用を検討していく。

**問** 以前から職員の公務の執行を著しく妨害している市民に対する今後の対応は。

**答** 業務に支障を与える行為が続く場合は、映像等に記録し、公務執行妨害等の刑法犯や県の迷惑防止条例違反として被害届の提出を検討していく。今後も、速やかに適切な対応をしてもらうよう、たつの警察署へ情報提供を行い、連携を図っていく。

その他の質問事項

- 観光地の安全対策について
- 職場におけるハラスメント対応について
- コンパクトシティの計画について
- 市民乗り合いタクシーの市内全域の広域化について